

Tsuyama College		Year	2021		Course Title	English V
Course Information						
Course Code	0135		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1		
Department	Department of Integrated Science and Technology Electrical and Electronic Systems Program		Student Grade	5th		
Term	First Semester		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：『Science fo Fun!』（金星堂） ・ 参考書：英和辞典（電子辞書もしくは冊子）					
Instructor	YAMAGUCHI Yumi,YAMAGUCHI Hitoshi,KONDO Yoshiko					
Course Objectives						
学習目的：４技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。						
到達目標： 1.英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。 2.英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 3.本文の要旨を英語でまとめることができる。 4.ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。 5◎.日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできない。		
評価項目2	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。		
評価項目3	本文の要旨を英語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることが最低限できる。	本文の要旨を英語でまとめることができない。		
評価項目4	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが十分できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができ	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。		
評価項目5	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが十分できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが最低限できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができず，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：英語 基礎となる学問分野：英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学 学習教育目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成」であるが，付随的には「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」に関与する。 授業の概要：教材を読み込んで要旨を英語でまとめ，それを口頭で相手に伝える練習をする。					
Style	授業の方法：本科目は前期に開講する。本文内容を理解したうえで，音読をおこない，英語で要旨をまとめ，その内容についてプレゼンテーション形式で発表をおこなう。また，小テストを8回おこなう。 成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50％）。定期試験の結果に加え，平素の課題，小テスト，発表など（50％）を総合して成績評価をおこなう。 試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。					
Notice	履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。 履修上のアドバイス：予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。事前に行う準備学習としては，各レッスンに関わる背景知識について調べておくことが望ましい。 基礎科目：英語I（1年），英語表現I（1），英語II（2），英語表現II（2），英語III（3），英語IV（4），国際英語論I（4），国際英語論II（4） 関連科目：コミュニケーション学I・II（4），国際英語論I・II，異文化社会論I・II，日本社会論，日本文化論 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。教科書・英和辞書を持参し，予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので，必ず参加すること。 遅刻について：授業開始20分すぎでの入室は欠課扱いとする。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
必履修						
Course Plan						
		Theme			Goals	

1st Semester	1st Quarter	1st	●ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意）	本科目の目標や序行内容について理解を深める。
		2nd	●Unit 1	味覚について科学的に分析した英文を理解する。
		3rd	●Unit 2 小テスト・課題（発表を含む）①	砂漠について科学的に分析した英文を理解する。
		4th	●Unit 3 小テスト・課題（発表を含む）②	クリスマス・ツリーについて科学的な視点で見た英文を理解する。
		5th	●Unit 4 小テスト・課題（発表を含む）③	ゼブラフィッシュについて科学的に分析した英文を理解する。
		6th	●Unit 5 小テスト・課題（発表を含む）④	シベリアリスと生命科学について分析した英文を理解する。
		7th	●Unit 6 小テスト・課題（発表を含む）⑤	海藻と腸内について科学的に分析した英文を理解する。
		8th	●前期中間試験	7週までのまとめができる。
	2nd Quarter	9th	●前期中間試験返却と解説	前期中間試験のフィードバックができる。
		10th	●Unit 7	未来の自動車について分析した英文を理解する。
		11th	●Unit 8 小テスト・課題（発表を含む）⑥	音楽と脳について科学的に分析した英文を理解する。
		12th	●Unit 9 小テスト・課題（発表を含む）⑦	宇宙について分析した英文を理解する。
		13th	●Unit 10 小テスト・課題（発表を含む）⑧	交通事故について科学的に分析した英文を理解する。
		14th	●Unit7～10 ふりかえり	学習のふりかえりを行い、学習内容の定着を行う。
		15th	●前期末試験	15週までのまとめができる。
		16th	前期末試験の返却と解説	前期末試験のフィードバックができる。

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	小テスト・課題・発表	相互評価	態度	Total
Subtotal	50	50	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0